

毎日の暮らしの中でできる「省電」へのご協力をお願いいたします。

九州電力では、電力の安定供給に努めておりますが、

猛暑などにより電気の使用量が急増した場合、電力が不足する事態も考えられます。

お客さまにはこれまで以上に、上手に電気をお使いいただく“省電力”をお願いいたします。

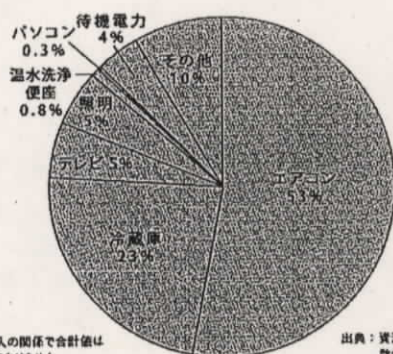
九州電力株式会社

ご家庭での省電力をお願いいたします。

夏の日中(14時頃)には、在宅世帯は平均で約1,200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています。

外出中の世帯でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約340Wの電力を消費しています。

【夏の日中(14時頃)の消費電力(全世帯平均)】



■家庭での取り組み事例と効果

効果	削減率	削減消費電力
エアコン ○室温28℃を心がけましょう。	10%	130W
冷蔵庫 ○冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。	2%	25W
照明 ○日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。	5%	60W
温水洗浄便座 ○便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用しましょう。	1%未満	5W
洗濯機 ○上記の機能がなければコンセントからプラグを抜いておきましょう。		
炊飯器 ○早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。	2%	25W
待機電力 ○リモコンの電源ではなく、テレビなどでは本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。	2%	25W

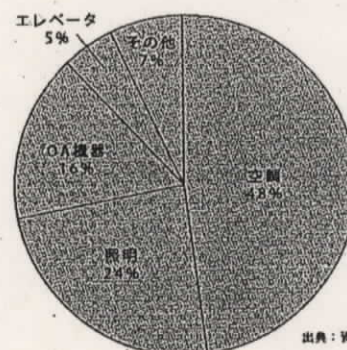
※効果の記載値は、在宅世帯の日中の平均消費電力(14時:約1,200W)に対する削減率と削減消費電力の目安です(資源エネルギー庁推計)。また、削減率は全て小数点以下を切り捨てています。

オフィスでの省電力をお願いいたします。

電力消費のうち、空調用電力が約48%、照明及びOA機器(パソコン、コピー機等)が約40%を占めます。

これらを合わせると電力消費の約88%を占めるため、これらの分野における省電力対策は特に効果的です。

【平均的なオフィスビルにおける用途別電力消費比率(ピーク時:14時前後)】



■オフィスでの取り組み事例と効果

効果	削減率
照明 ○執務エリアの照明を半分程度引きしましょう。	13%
照明 ○使用していないエリア(会議室、廊下等)は消灯を徹底しましょう。	3%
空調 ○執務室の室内温度を28℃にしましょう(または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げましょう)。	4%
空調 ○使用していないエリアは空調を停止しましょう。	2%
OA機器 ○長時間応を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにしましょう。	3%

※記載している効果は、建物全体の消費電力に対する効果の目安です。空調については電気式空調を想定しています。※一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減率は異なります。

工場等での省電力をお願いいたします。

5月のご請求書に同封いたしましたチラシでも、以下の方法をご紹介します。

- 空調：生産に影響がない範囲で設定温度をこまめに調整しましょう。
- 照明：製造工程停止時の不要な照明を消灯しましょう。
- 倉庫・資材置き場、通路等の不要な照明を消灯しましょう。
- 設備：休日・長期不使用設備の電源は消しましょう。

- ① エアコンの控え過ぎによる熱中症などに気をつけて、無理のない範囲で省電力をお願いします。熱中症予防のため、水分は定期的に摂取するようにしましょう。
- ② 省電力を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

家庭やオフィスでの取り組み事例と効果については、資源エネルギー庁ホームページ「家庭の節電対策メニュー」及び「オフィスビルの節電行動計画」から抜粋。

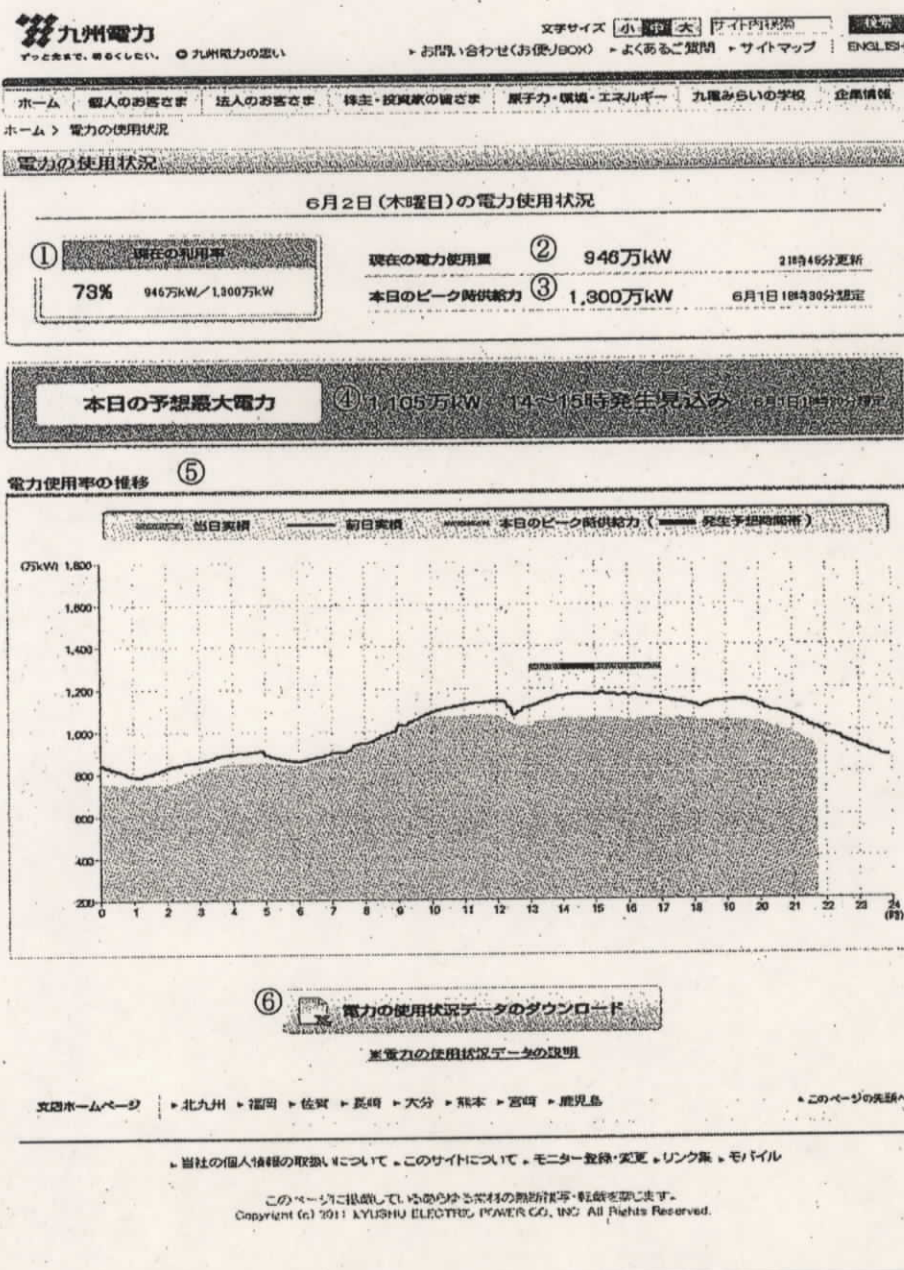
省電力の方法をホームページでもご紹介しています。九州電力
ご不明な点は最寄りの営業所へお問い合わせください。www.kyuden.co.jp

ホームページによる電力使用状況の公開について

1 目的

「お客さまへの省電のお願い」に向けた取組みの一環として、当社ホームページ上に電力使用状況を公開する。

2 画面イメージ（パソコン版）

画 面	説 明
 九州電力 ずっと先まで、明るくしたい。 ● 九州電力の窓 文字サイズ 小 中 大 サイト内検索 検索 お問い合わせ(お便りBOX) よくあるご質問 サイトマップ ENGLISH ホーム 個人のお客さま 法人のお客さま 株主・投資家の皆さま 原子力・環境・エネルギー 九電みらいの学校 企業情報 ホーム > 電力の使用状況 電力の使用状況 6月2日(木曜日)の電力使用状況 ① 現在の利用率 73% 946万kW / 1,300万kW 現在の電力使用量 ② 946万kW 21時46分更新 本日のピーク時供給力 ③ 1,300万kW 6月1日18時30分想定 本日の予想最大電力 ④ 1,105万kW 14～15時発生見込み 6月1日18時45分想定 電力使用率の推移 ⑤ 当日実績 前日実績 本日のピーク時供給力(発生予想時間帯) ⑥ 電力の使用状況データのダウンロード 電力の使用状況データの説明 京浜ホームページ 北九州 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島 このページの先頭へ 当社の個人情報の取扱いについて このサイトについて モニター登録・変更 リンク集 モバイル このページに掲載している資料は本社の機密資料・特許権を有します。 Copyright (c) 2011 KYUSHU ELECTRIC POWER CO., LTD. All Rights Reserved.	①現在の利用率(%) ②本日現在の実績 (kW、5分毎に更新) ③本日のピーク時供給力 (kW) 〔ピーク時供給力とは、本日の供給力の最大値を示します〕 ④本日の予想最大電力 (kW、発生時間) ⑤電力使用状況グラフ (前日実績を参考値として表示) ⑥グラフデータのダウンロード (お客さまの必要に応じて、データの抽出、加工が可能)

携帯電話版ホームページにも掲載予定

3 運用開始日

平成 23 年 7 月 5 日 (火) 予定

以 上

平成23年度県庁舎の省エネルギー推進について

総務部総務税務局管財課

1. 県庁舎におけるこれまでの取組

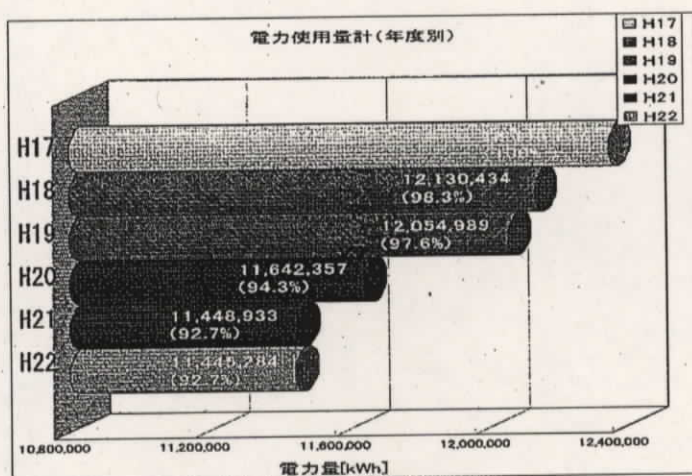
県庁舎においては、平成18年度から本格的な省エネルギー対策について取り組んでいる。

(1) 取組の内容

- ・ 冷房設定温度(基準:17~28℃→運用:28℃)
- ・ 空調時ブラインドを下す、入口ドアを閉める(空調効率増)
- ・ 執務室一斉消灯(12:15、18:30)
- ・ エレベータ間引き運転(本館6台中2台停止、新館及び県警4台中1台停止)
- ・ 廊下、エレベータホール、駐車場等の減灯
- ・ コピー機パソコン等電気製品の不要時の電源切(昼休みの庁内放送による周知) 等

(2) 取組の成果

- ①平成17年度以降毎年度節電が図られている。
- ②平成22年度は、平成17年度電力使用量に比べ約90万kwh(7.3%)の削減となっている。



電気使用量年度計	
平成17年度	12,345,737
平成18年度	12,130,434
平成19年度	12,054,989
平成20年度	11,642,357
平成21年度	11,448,933
平成22年度	11,445,284

参考

日最大使用電力量(H22、8月30日)

43千kwh

内訳	・ 空調	40%
	・ サーバーやエレベータ等	35%
	・ 照明コンセント	25%

2. 平成23年度における新たな取組

今年の夏場の電力不足が懸念されることから、県の率先行動として7月から9月まで新たな対策を実施する。

なお、現状の対策については、今年度も引き続き実施し、さらにその徹底を図る。

今年度新たに取組む対策は、次のとおりとする。

新たな対策
① 給湯器半数停止（半数停止30台） ② エレベーター間引き運転（9時30分から11時まで13時30分から16時までの間） （本館4/6台→3/6台、新館、警察棟3/4台→2/4台運転。） ③ 給湯室内冷水器停止（半数停止33台） ④ ノートパソコンをバッテリーで駆動する ⑤ 各課プリンター1台以上停止 ⑥ 冷蔵庫の設定を弱にする ⑦ 空調運転方法を見直す 16:45から17:15 空調（冷水+送風）→空調（送風のみ） ⑧ 省エネチェックリストを配布し、対策の実効性を確保する。
その他 ・ 一斉消灯（18:15、20:00） ・ 定時退庁週間（2週間） ・ 定時退庁日（7～8月：毎週、水・金） ・ ライトダウン（7/7、7/23、8/8、8/23、9/8）

なお、九州電力からさらなる節電要請があれば、県民サービスや執務環境への影響を踏まえ、その内容に応じて対策の追加を検討する